

# 第1回 長房中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和3年(2021年)6月26日(土)9:30~12:00
場所	長房小学校 会議室
出席者	参加者:宇田、大田原、坂本、田中、塚本、西山、本堂、森、山陰、山中、青梅、松本 高齢者あんしん相談センター長房:古座野、小野 シルバー見守り相談室長房:光富 第1層生活支援コーディネーター:今泉 八王子地域 PAL-ETTE:小杉、雑賀 未来デザイン室:今川、野田、安齋、牧瀬 RPI:丸木、笠原、加藤、新津
見学者	長房小学校:川村校長
配布資料	・第1回長房中学校区地域づくり推進会議資料 ・資料1 長房中学校区と八王子市の現状 ・資料2 【長房A-1】第2回中学校区別ワークショップ取りまとめ ・資料2 【長房A-2】第2回中学校区別ワークショップ取りまとめ ・参考 長房中学校区におけるワークショップアンケートの結果について

## 1. 開会

- ・未来デザイン室、長房小学校 川村校長より挨拶。

## 2. 事前説明

- ・「地域づくり推進事業」及び「令和3年度(2021年)の活動概要」について、配布資料をもとに未来デザイン室から説明。

## 3. オリエンテーション

- ・参加者をはじめ、出席者全員による「自己紹介」を行った。
- ・地域づくり推進会議の検討内容やスケジュールについて、配布資料をもとに説明。  
【意見・質疑応答】
  - ・町内の「飛び出し禁止」の看板を新しいものに変えることすら、手続き等が複雑で申請できない。この場が住民同士や市とのワンストップの情報共有の場になれば良い。
  - ・市民活動推進部も本会議体に参加すべきではないか。  
庁内で、横断的に連携できる仕組みを検討している。(未来デザイン室)

## 4. 議題

### ア 長房中学校区の現状を理解しよう

- ・資料1(長房中学校区及び八王子市の現状)に沿ってグラフやヒアリング結果を説明。

### イ 中学校区別WS(第2回)の検討結果を振り返ろう

- ・資料2(中学校区WSのまとめ結果)について説明。

### ウ 参加者の「活動内容」、「課題」、「今後の展望」を共有しよう

- ・議題ウのワークの内容については、別紙1(第1回 長房中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容)を参照。

## エ 地域づくり推進会議に関する意見交換

### ○日時について

- ・第3回目以降も土日の午前中開催で全員賛成。

### ○場所について

- ・クーラーも使用でき、予約可能なふれあい館を会場にしてはどうか。
- ・第2回目は長房小学校で開催。変更があれば参加者へ連絡。

### ○参加者について

- ・地域づくり推進会議の参加者を募集している。直接の知り合いのほか、各分野における必要な参加者の提案も頂きたい。該当者がいる場合は、当事者もしくは推薦者が未来デザイン室へ連絡をお願いしたい。また、第2回以降の会議でも参加者についての意見交換を行う。(未来デザイン室)
- ・船田では、大規模開発が始まるため、船田町会長に参加してもらおうと議論が深まるのではないかと。
- ・長房団地単位で考えると、中学校区は横山だが、都営長房南団地の住民も参加した方が良いのではないかと。
- ・障害者関係に詳しい参加者がいると良い。青少対でつながりがあるため呼べるのではないかと。

### ○配付資料及び検討方法について

- ・配付資料は事前送付してほしい。
- ・各中学校区の地図が手元にあると良い。また、黒板掲示用の模造紙サイズの大きい地図もあると良い。地域に何があるかを可視化し、書き込みながら話し合いを進めたら分かりやすいのではないかと。地図には中学校区内の城山手、中郷、船田、長房団地、市営団地の記載をしてほしい。
- ・未来デザイン室が以前、市内の小P連に向けたアンケートをSNSで配信していた。このようなアンケートを長房中学校区の推進会議に取り入れたら良いのではないかと。

### ○その他

- ・コミュニティタウン長房の活動として住民の困りごとを解決しようとしている。直近では、長房商店街のポストが撤去されたため、再設置を検討している。また、カインズホームが出来てバス通りに人の行き来が増えたため、地区内のベンチを増やす予定。なお、現在設置されている無許可のベンチは、青少年対策長房地区委員会のクリーン活動のなかで撤去する予定。

## 5. 参加者からの感想

- ・中学校区ワークショップの結果を活用した会議にしたい。
- ・いくつもテーマを上げるよりは、絞って話し合いを深めたい。
- ・話し合ったことは、1つでも実現されると良い。
- ・推進会議で話し合った結論や内容はどのように取り扱うのか。  
現在検討中であり、住民の意見を取り入れながら決めていきたい。(未来デザイン室)

## 6. 閉会

- ・未来デザイン室より挨拶。次回推進会議のスケジュール及び場所の確認。

以上

## 第1回 長房中学校区地域づくり推進会議 ワーク内容

## ステップ1:活動内容、課題

名前	活動内容	課題
宇田	<p>民生児童委員第12地区会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員としては、72歳以上の一人暮らしの見守り活動を行っている。</li> <li>・コロナ禍の中で月1回ではあるが、地域の人たちの交流の場であるサロンを開催している。サロンの参加者は多く、皆がつながりを求めているようである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンを週1回または毎日でもやれるようにしたい。</li> <li>・サロンなどを開いても移動手段のない人が多く、地域内をめぐるバスなどの整備が必要であると感じている。</li> </ul>
大田原 青梅	<p>大田原 長房小学校元PTA会長 青梅 長房小学校PTA副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全や防犯に力を入れている。</li> <li>・長房小学校を良くするための活動を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの見守りを担える人材が不足している(保護者は忙しく、地域は高齢の方が多く負担が大きい)。</li> <li>・地域内での事故が多い。特にコピオ長房やカインズホームがオープンしたことで自動車の往来が増えており、地域ぐるみの対応が必要である。</li> <li>・大人が交通ルールを無視した道の横断をしていることもあり、子どもが気にしていた。</li> <li>・挨拶運動や交通安全の旗振り運動をうまく定着させたい。</li> <li>・老朽化した立て看板(飛び出し注意の看板等)などをスムーズに更新できる仕組みや体制があると良い。</li> </ul>
坂本	<p>長房中学校元PTA会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任児童委員として、地域の学校や保育園へ挨拶に行ったり、民生委員さんと協力して子どもさんの見守りなどを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所づくりなどをサポートする人材が不足している。</li> <li>・長房中学校区には子ども食堂の取り組みがなく、30~40代の交流が少ない為、担い手となる人もいない。</li> <li>・長房と船田など、中学校区内の横のつながりが不足している。</li> </ul>
田中	<p>八王子国際協会理事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在日外国人の支援をしている。</li> <li>・多文化共生の視点で地域住人をつなぐコーディネートをしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で人と人との交流がなかなかできない。</li> </ul>
塚本	<p>長房中学校学校運営協議会会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長房中学校の状況の共有や今後の活動について話し合っている。</li> <li>・赴任してくる先生方へ地域の状況を伝え、地域に対する理解を深めてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の中で多くのアイデアや計画が生まれるが、それを実現する難しさがある。</li> </ul>

名前	活動内容	課題
西山	<p>都営西アパート連合自治会会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者から子どもまでが参加し交流できる場として納涼祭を重視している。</li> <li>・特に盆踊りには、ペットボトルで灯籠をつくり、子どもや高齢者に塗り絵を描いてもらい、300 個ほど並べてもらうなど、地域の方々に参加してもらっている。手作り夜店も充実している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域が高齢化しており、納涼祭の担い手が必要。例えば盆踊りの櫓づくりは高所作業であり、担い手が必要。</li> <li>・東京都には地域活動に関する補助金があり、取得するためにはかなりな手続きを要するが、活動を継続させるためには必要であるため、申請できるよう対応したい。</li> </ul>
本堂	<p>長房小学校学校運営協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会以外の活動として、団地内の防災や減災、安否確認のシステムの検討などを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団地に住んでいる人たちの防災に対する意識向上が必要である。</li> </ul>
松本	<p>船田小学校 PTA 会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に行こうよ PTA、やって良かった PTA を推進している。</li> <li>・子どもと家庭、学校、地域のつながりを深め、安心安全な環境づくりのサポートをしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数も減少し、PTA のなり手が少なくなっている。地域の方の力を借りてボランティアとして PTA の運営ができれば良い。</li> </ul>
森	<p>青少年対策長房地区委員会会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年対策長房地区委員会で地域研修会を開催している(7/29(木)13 時～15 時に長房ふれあい館で開催)。地域情報を共有する場として重宝している。</li> </ul>	
山陰	<p>ひまわりサロン長房代表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動を月1回実施。地域の皆様の元気な様子を見るために、コロナ禍に対応してテイクアウト方式で行っている。</li> <li>・高齢者あんしん相談センター長房の方にも毎回来ていただいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でサロンに来れない方が5・6人おり、現在は、配食のため家に伺っている状況。</li> </ul>
山中	<p>市民活動協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子市民活動協議会では、志民塾による地域で活動できる人材、活動家づくりを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒塾生の組織づくりや情報共有がうまくいっていない。</li> <li>・交流の機会が不足している。</li> <li>・市民活動の活性化につながっていない。</li> </ul>